

福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	乳腺外科学講座(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 29: 175-179
Issue Date	2019-03-19
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/812
Rights	©2019 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2023-05-04T20:52:51Z

鈴木弘行. 免疫チェックポイントの基礎と臨床. 第 111 回日本肺癌学会中部支部学術集会; 20170923; 名古屋.

鈴木弘行. 肺癌治療の現状と展望. 安達医師会学術講演会; 20171117; 二本松. 安達医師会報. (57):41.

鈴木弘行. がん免疫療法の課題と展望～副作用対策を含めて～. 第 30 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20171130-1201; 岐阜.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬におけるバイオマーカー研究の現状. 第 30 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20171130-1201; 岐阜.

鈴木弘行. 癌免疫療法の新展開. 総合南東北病院 S.T.R. Medical Conference; 20171222; 郡山.

〔その他〕

高木玄教, 岡部直行. 肺がんについて知っておきたいこと. 第 15 回山鹿クリニック健康いきいきフェスティバル (市民講演) ; 20170624; 会津若松.

乳腺外科学講座

論 文

〔原 著〕

Tachibana K, Saito M, Imai J, Ito E, Yanagisawa Y, Honma R, Saito K, Ando J, Momma T, Ohki S, Ohtake T, Watanabe S, Waguri S, Takenoshita S. Clinicopathological examination of dipeptidase 1 expression in colorectal cancer. Biomedical Reports. 201703; 6(4):423-428.

Tachibana K, Shibata M, Gonda K, Matsumoto Y, Nakajima T, Abe N, Ohtake T, Ohto H, Kono K, Takenoshita S. IL-17 and VEGF are increased and correlated to systemic inflammation, immune suppression, and malnutrition in patients with breast cancer. European Journal of Inflammation. 201712; 15(3):219-228.

Ando J, Saito M, Imai J, Ito E, Yanagisawa Y, Honma R, Saito K, Tachibana K, Momma T, Ohki S, Ohtake T, Watanabe S, Waguri S, Kono K, Takenoshita S. TBX19 is overexpressed in colorectal cancer and associated with lymph node metastasis. Fukushima Journal of Medical Science. 201712; 63(3):141-151.

Gonda K, Shibata M, Ohtake T, Matsumoto Y, Tachibana K, Abe N, Ohto H, Sakurai K, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells are increased and correlated with type 2 immune responses, malnutrition,

inflammation, and poor prognosis in patients with breast cancer. *Oncology Letters*. 201708; 14(2):1766-1774.

Bhardwaj A, Singh H, Rajapakshe K, Tachibana K, Ganesan N, Pan Y, Gunaratne PH, Coarfa C, Bedrosian I. Regulation of miRNA-29c and its downstream pathways in preneoplastic progression of triple-negative breast cancer. *Oncotarget*. 201703; 8(12):19645-19660.

Hara T, Iwadata M, Tachibana K, Waguri S, Takenoshita S, Hamada N. Metastasis of breast cancer cells to the bone, lung, and lymph nodes promotes resistance to ionizing radiation. *Strahlentherapie und Onkologie*. 201710; 193(10):848-855.

芦澤 舞, 岡山洋和, Aung Kyi Thar Min, 野田 勝, 青砥慶太, 中島隆宏, 石亀輝英, 三村耕作, 河野浩二. ミスマッチ修復機構欠損を有する大腸癌における MicroRNA による PD-L1 制御機構. *癌と化学療法*. 201710; 44(10):889-891.

阿部宣子, 佐治重衡, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 【黄体ホルモン up to date】 乳腺疾患と黄体ホルモン. *産婦人科の実際*. 201705; 66(5):619-624.

〔総説等〕

立花和之進, 大竹 徹, 佐治重衡. 【乳癌のすべて】 診断・治療の進歩 再発 luminal type 乳癌に対するあらたな治療戦略. *医学のあゆみ*. 201704; 261(5):473-477.

〔症例報告〕

阿部貞彦, 阿部宣子, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 畠山優一, 六角裕一, 大竹 徹. 潜在性乳癌を疑う 1 例. *癌と化学療法*. 201712; 44(12):1095-1097.

野田 勝, 立花和之進, 仲野 宏, 阿部貞彦, 村上祐子, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 破骨細胞様巨細胞の出現を伴う乳癌の 1 例. *癌と化学療法*. 201712; 44(12):1185-1187.

研究発表等

〔研究発表〕

Okano M, Okayama H, Ohtake T, Kawaguchi T, Yan L, Qi Q, Liu S, Takabe K. Clinical Relevance of Annexin A1 in Triple-negative Breast Cancer Patients. 12th Annual Academic Surgical Congress; 20170207; Las Vegas, USA.

Okano M, Kawaguchi T, Okano I, Katsuta E, Takabe K. Development of advanced pre-clinical in vivo models of metastatic breast cancer. San Antonio Breast Cancer Symposium; 20171205-09; San Antonio, USA.

青砥慶太, 河野浩二, 中島隆宏, 野田 勝, 吉田清香, 阿部宣子, 立花和之進, 岡野舞子, 大竹 徹. 乳癌における化学療法が惹起する Immunogenic tumor cell death の検討. 第 14 回日本乳癌学会東北地方会;

20170304; 仙台.

阿部貞彦, 阿部宣子, 立花和之進, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹 徹, 田崎和洋. 潜在性乳癌との鑑別が困難だった腋窩部乳癌の1例. 第14回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

立花和之進, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 大竹 徹. 破骨細胞様巨細胞の出現を伴う乳癌の1例. 第14回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

野田 勝, 阿部宣子, 吉田清香, 立花和之進, 岡野舞子, 阿部貞彦, 大竹 徹. 若年性乳癌に対する治療戦略. 第14回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

阿部宣子, 阿部貞彦, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 乳癌における PET-CT による術前の腋窩リンパ節転移の評価. 第117回日本外科学会定期学術集会; 20170427-29; 横浜.

仲野 宏, 立花和之進, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹 徹. 破骨細胞用巨細胞の出現を伴う乳癌の1例. 第4回臨床外科学会福島支部会; 20170513; 郡山.

阿部貞彦, 阿部宣子, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 畠山優一, 六角裕一, 大竹 徹. 潜在性乳癌を疑う1例. 第39回癌局所療法研究会; 20170623; 京都.

野田 勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 破骨細胞用巨細胞の出現を伴う乳癌の1例. 第39回癌局所療法研究会; 20170623; 京都.

立花和之進, 岡野舞子, 岡山洋和, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田 勝, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹 徹. トリプルネガティブ乳癌における Annexin A1 の発現と臨床病理学的因子との関連および予後の検討. 第25回日本乳癌学会学術総会; 20170713; 福岡.

野田 勝, 阿部宣子, 吉田清香, 立花和之進, 岡野舞子, 阿部貞彦, 大竹 徹. 若年性乳癌の臨床病理学的検討. 第25回日本乳癌学会; 20170714; 福岡.

村上祐子, 立花和之進, 遠藤英成, 岡野舞子, 長塚美樹, 阿部宣子, 吉田清香, 佐久間威之, 松崎正實, 片方直人, 野水 整, 大竹 徹, 竹之下誠一. 再発乳癌43例に対する Eribulin Mesylate 使用経験. 第25回日本乳癌学会; 20170714; 福岡.

吉田清香, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 大竹 徹. 進行再発乳癌に対する Bevacizumab+Pacritaxel 療法後の薬物療法の検討. 第25回日本乳癌学会; 20170715; 福岡.

星 信大, 阿部曉人, 室井 望, 林 光弘, 浦住幸治郎, 中山浩一, 阿部宣子, 大竹 徹. 乳腺コレステロール肉芽種の1例. 第22回日本外科病理学会; 20171111; 宇都宮.

村上祐子, 野田 勝, 立花和之進, 仲野 宏, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 破骨細胞用巨細胞の出現を伴う乳癌の1例. 第22回日本外科病理学会; 20171111; 宇都宮.

野田 勝, 阿部宣子, 吉田清香, 立花和之進, 村上祐子, 作山美郷, 大竹 徹. アロマトーゼ阻害薬耐性進

行・再発乳癌に対する治療選択. 第 15 回福島県乳癌研究会; 20171118; 郡山.

〔特別講演〕

大竹 徹. マンモグラフィガイドラインの変更点と解説. 第 43 回 NPO 法人マンモグラフィ精度管理中央機構主催マンモグラフィ更新講習会; 20170211; 名古屋.

大竹 徹. 進行再発乳癌に対するペバシズマブ併用療法のポジショニング. 第 14 回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

大竹 徹. あなたに知ってほしい、乳がんのこと. 平成 29 年度福島市健康セミナー; 20170530; 福島.

大竹 徹. 平成 27 年度福島市乳がん検診成績について. 平成 29 年度福島市医師会乳がん検診精度管理研修会; 20170613; 福島.

阿部宣子, 大竹 徹. 平成 27 年度福島市検診発見乳がんのマンモグラフィ読影解説. 平成 29 年度福島市医師会乳がん検診精度管理研修会; 20170613; 福島.

大竹 徹. アバスタチン併用療法の位置付け. Meet the Expert at まかび; 20170614; 那覇.

大竹 徹. アバスタチン併用療法の位置付け. 乳がん Expert Meeting; 20170616; 渋川.

野田 勝, 阿部宣子, 仲野 宏, 村上祐子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. HER2 陽性転移・再発乳癌に対するペバシズマブ併用療法の使用経験. Fukushima Breast Cancer Symposium 中外製薬; 20170630; 郡山.

大竹 徹. 乳がん検診の精度管理と最近の動向. 平成 29 年度会津乳がん検診研修会; 20170718; 会津若松.

大竹 徹. 乳癌治療における薬物療法の進歩. いわき乳腺疾患研究会; 20170721; いわき.

大竹 徹. 知っておきたい女性の病気 ―乳がんの予防と早期発見―. 平成 29 年度鏡石町保健医療交流事業; 20170801; 鏡石.

大竹 徹. 乳癌化学療法における支持療法. 中外 乳がんテレビ講座; 20170901; 郡山.

立花和之進. 今あらためて乳癌を考える. 患者会 ピンクのリボン; 20170909; 福島.

大竹 徹. HER2 陽性進行再発乳癌の治療戦略. 会津乳がん治療セミナー; 20170919; 会津若松.

大竹 徹. 乳がん診療の進歩. 第 30 回がん治療懇話会; 20171020; 郡山.

大竹 徹. 乳癌患者さんが知っておくべきこと. 第 12 回坪井病院乳がん患者会; 20171021; 郡山.

大竹 徹. 乳がんの外科治療. 福島県立医科大学公開講座 がん外科治療最前線 (乳がん・前立腺がん編); 20171119; 福島.

大竹 徹. 知っていますか？乳がんのこと. 平成 29 年度福島県診療放射線技師学会大会 一般公開講演; 20171119; 福島.

〔招待講演〕

立花和之進. MD Anderson Cancer Center. エーザイ社内勉強会; 20170620; 福島.

立花和之進. 乳癌の治療選択に関して. 協和発酵キリン社内勉強会; 20170822; 福島.

野田 勝, 阿部宣子, 仲野 宏, 村上祐子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 進行・再発 luminal type 乳癌に対するフルベストラントの使用経験. 郡山 BC ワークショップ アストラゼネカ; 20170915; 郡山.

心臓血管外科学講座

論 文

〔原 著〕

Igarashi T, Yamamoto A, Fujimiya T, Takase S, Satokawa H, Yokoyama H. Inferior Mesenteric Artery Aneurysm Complicated With Occluded Celiac and Superior Mesenteric Artery After Replacement of Thoracoabdominal Aorta for Chronic Dissected Thoracoabdominal Aortic Aneurysm. Annals of Vascular Surgery. 201710; 44:420.e7-420.e10.

Igarashi T, Tanji M, Takahashi K, Ishida K, Sasaki S, Yokoyama H. Predictive factor of secondary tricuspid regurgitation after aortic valve replacement for aortic stenosis: the importance of myocardial hypertrophy and diastolic dysfunction. General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 201705; 65(5):259-266.

山本晃裕, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 佐藤善之, 瀬戸夕輝, 籠島彰人, 高野智弘, 藤宮 剛, 横山 斉. 術前血流評価によりリエントリー閉鎖を先行したマルファン症候群合併解離性胸部大動脈瘤の 1 例. 日本心臓血管外科学会雑誌. 201701; 46(1):25-28.

佐戸川弘之, 横山 斉. 動脈静脈の疾患 (上) —最新の診断治療動向— V 動脈静脈疾患 (四肢体幹) 静脈瘤 (下肢を中心に) 下肢静脈瘤の病因と病態 Etiology and pathophysiology of varicose veins. 日本臨床. 201705; 75(増刊 4):514-518.